

第2回予算・税制に係る公的制度の基準額・閾値の点検・見直しに関する関係府省庁連絡会議議事要旨

1 日時

令和7年9月30日（火）15:30～15:50

2 場所

中央合同庁舎8号館8階代替講堂

3 出席者

○議長

阪田 渉 内閣官房副長官補（内政担当）

○副議長

阿久澤 孝 内閣府政策統括官（経済社会システム担当）

○構成員

関 禎一郎 内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）

笹川 武 内閣府大臣官房長

重松 弘教 警察庁長官官房総括審議官【代理出席】

堀本 善雄 金融庁総合政策局長

日下部 英紀 消費者庁次長

水田 功 こども家庭庁長官官房審議官（総合政策等担当）【代理出席】

田邊 国治 デジタル庁戦略・組織グループ参事官【代理出席】

天河 宏文 復興庁統括官

山崎 良志 総務省大臣官房長

杉山 徳明 法務省大臣官房長

杉浦 正俊 外務省大臣官房審議官（総括担当）【代理出席】

松田 康宏 財務省大臣官房会計課長【代理出席】

茂里 毅 文部科学省大臣官房長

宮崎 敦文 厚生労働省大臣官房長

宮浦 浩司 農林水産省大臣官房長

片岡 宏一郎 経済産業省大臣官房長

黒田 昌義 国土交通省大臣官房長

秦 康之 環境省大臣官房長

寺田 広紀 防衛省大臣官房審議官【代理出席】

○オブザーバー

橋本 憲次郎 総務省大臣官房審議官（財政制度・財務担当）

福田 毅 総務省大臣官房審議官（税務担当）

吉沢 浩二郎 財務省主計局次長

岩佐 理 財務省大臣官房審議官（主税局担当）

4 議事要旨

○連絡会議開催の申合せ

会議に先立ち、資料１のとおり本連絡会議の開催についての申合せの一部改正案が承認された。

○議事

(１) 公的制度の基準額・閾値の点検結果の全体像について

- ・阿久澤副議長から、資料２に基づき、令和８年度概算要求・税制改正要望時点における基準額・閾値の点検結果について説明がなされた。

(２) 長年据え置かれた基準額・閾値の見直し事例について

関係省庁から、長年据え置かれた基準額・閾値のうち、令和８年度に見直し予定の事例が紹介された。

- ・黒田国土交通省大臣官房長から、資料３－１に基づき、交通遺児育成給付金支給事業の見直しについて説明がなされた。
- ・杉山法務省大臣官房長から、資料３－２に基づき、更生保護委託費の見直しについて説明がなされた。
- ・宮崎厚生労働省大臣官房長から、資料３－３に基づき、子どもの学習・生活支援事業の見直しについて説明がなされた。
- ・水田こども家庭庁長官官房審議官（総合政策等担当）から、資料３－４に基づき、新規参入施設等への巡回支援の見直しについて説明がなされた。

(３) 地方財政の対応について

- ・橋本総務省大臣官房審議官（財政制度・財務担当）から、資料４に基づき、基準額・閾値の点検・見直しに係る地方財政の対応について説明がなされた。

○閉会挨拶

阪田議長から以下の発言があった。

- ・公的制度の基準額・閾値の点検・見直しに精力的に取り組んでいただき感謝を申し上げる。本日、令和８年度概算要求、税制改正要望等における検討状況をご報告いただいた。今回の点検・見直しを通じて、長年据え置かれてきた基準額・閾値の見直しが進んでいることが確認できた。
- ・また、ほぼすべての事業において、基準額・閾値の改定ルールを設定していただくなど、点検・見直しの成果が上がっていると感じた。物価上昇が継続する中で、基準額や閾値について、必要な見直しを行うことは、非常に重要。
- ・今後、予算編成・税制改正プロセスにおいて、さらに検討を深めていただき、来年１月には、予算・税制の反映状況を整理していただきたい。引き続きのご協力をお願いする。

以上